3月3日は「耳の日」　タレント 河島あみるさん　対談　耳鼻咽喉科医・医学博士 森口誠さん

子供の中耳炎について

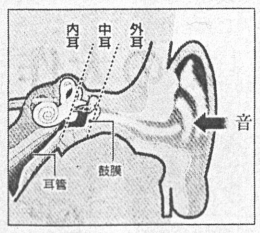
3歳までに70％以上が罹患

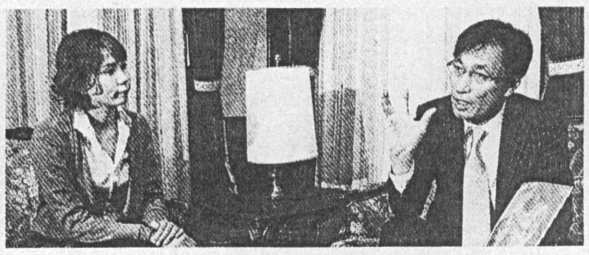
機嫌悪いと思ったら耳鼻科へ

おしえてドクター！

メディカル フロントライン

多くの子供が3歳までに1回は罹患するという急性中耳炎。3児の母親でありラジオなどで活躍中のタレント、河島あみるさん(33)が、大阪府枚方市の耳鼻咽喉科医、森口誠さん(51)に、その治療法や予防法について聞いた。大人と違って症状が正確に伝わりにくい子供の病気。河島さんは母親の目線で森口さんのアドバイスに熱心に耳を傾けた。きょう3月3日は「耳の日」。意外と知っていそうで知らないこの器官に、この日はちょっと関心を高めてほしい―。





耳の仕組みや子供の中耳炎の治療法を説明する森口耳鼻咽喉科の森口誠院長（右）。3児の母である河島あみるさんは真剣な面持ちで耳を傾けた

耳の構造

河島　まず、基本的な耳の構造について教えてください。

森口　耳は、大きく外耳・中耳・内耳の3つの部分に分かれます。音を集める役割の耳介とその奥の外耳道が外耳です。鼓膜の奥に鼓室があります。ここが中耳といわれます。この鼓室の中が炎症を起こしたり、膿や液体がたまったりすると中耳炎になります。その奥が内耳です。中耳には耳管という管があり、鼻の奥とつながっています。ここを経由して細菌やウイルス感染が起こります。これが原因で急性中耳炎となり、音が聞こえにくくなるのです。

もりぐち・まこと　昭和60年大阪市立大医学部卒業。平成3年同大学院医学研究科修了。大阪市立小児保健センター、同総合医療センター医長を歴任。日本耳鼻咽喉科学会と日本気管食道科学会認定の専門医。7年、森口耳鼻咽喉科を大阪府枚方市内で開業。大阪市都島区の大阪市立総合医療センターでも応援医として診療する。大阪府出身。

河島　耳は普段、あまり意識していないので、聞こえづらくなると慌てますよね。聞こえにくいという経験は、出産後によくあると聞きますが、ストレスが関係するのでしょうか。

森口　出産の前後によくあることです。低音が聞こえにくいという急性の低音障害型感音難聴です。ストレスがなくなると治ることが多いですよ。

河島　子供と大人で、耳の構造や病気の違いはあるんですか。

森口　子供は大人に比べて耳管が短く、太い。そして鼻の位置と耳の位置がほぼ水平で、鼻汁が中耳に流れ込みやすい構造になっています。顔の構造の違いですね。

もう一つの大きな違いは、免疫の発達の問題で個人差があることです。生後6カ月ぐらいまではお母さんの免疫があって風邪もひかない。しかし、徐々に人との交流が増えると、いろいろな微菌がうつり、子供自身も免疫を持つようになります。中耳炎では2歳児ぐらいまでが多く、一つの分かれ目です。3歳までに70％以上の子供が中耳炎になるといわれています。

河島　私の長男が4歳までに罹患したんです。まだ十分言葉を伝えられず、何か機嫌が悪そうなので、すごく気になりました。8歳になると、中耳炎の発症が落ち着いてきました。

森口　そうです。免疫力ができ、耳管の働きもより大人に近くなる8歳から10歳前後で発症しなくなります。子供さんの訴えるサインは分かりにくいですね。そのため、お母さんが気づくのが遅くなります。ぐずつく、熱っぽいということで、最初は小児科に行きますが、原因が分からない。最後に耳鼻科に行き着き、ようやく中耳炎と診断されるといった具合です。

耳あか掃除

河島　話は違いますが、私は子供の耳あかを掃除するのが大好きなんです。綿棒か耳かきかどちらがよいのでしょう。すごく気になるんです（笑）。

森口　外耳を傷つけなければ、どちらでもかまいません。しかし、耳あかは、自然に外に出てくるので何もしなくていいと思います。完全に耳あかが詰まっていても、聴力検査で聞こえ方はほとんど変わりません。

河島　中耳炎は、耳あかが詰まるためと思っていましたが、関係はなかったんですね。また、発熱するから中耳炎になると思っていましたが、中耳炎になったから発熱するんですね。

森口　中耳炎は、微菌（細菌やウイルス）の感染による中耳の炎症です。最初に風邪をひき、鼻の奥に微菌が付き、耳管から鼓室に入り込んで炎症が起こり、膿がたまる。そのため発熱するんです。しかし、風邪の熱か、中耳炎の熱かの見極めは大変難しいのですが、発熱したから中耳炎になったのではありません。

原因

河島　子供が話せるようになったとき、熱があり、耳が痛いと泣き叫んで訴えました。とにかく耳の痛みを取り除きたいと一生懸命でした。ところで中耳炎は感染するんですか。滲出性中耳炎はどうして発症するんですか。

森口　中耳炎自体は感染しません。細菌やウイルスなどの感染が原因で中耳炎は発症します。

急性中耳炎は風邪が引き金となって発症し、鼻の奥の炎症が完治していない時に、中耳に透明化した液や粘液がたまった状態が続くのが滲出性中耳炎です。この病気は痛みなどがないので分かりにくいのです。常に水がたまっているので聞こえが悪い。しかし、日常生活に困るほどではないので、お母さんには分かりにくいでしょうね。

河島　子供は何かに夢中になっていると、話しかけても聞いていないですから。

森口　一つの方法としてお母さんが、子供の見えないところから、子供が好きなこと、興味があることを話しかける。そして小さい声で話すことを試みることで分かるかもしれません。それでも発症したとは言い切れませんが、可能性はあるといえます。

河島　診察しても鼓膜があるので分からないのではないですか。

森口　正常な鼓膜は透きとっているんです。急性中耳炎では、鼓膜の手前から赤くなるんです。膿がたまっているのが見えます。滲出性では少し透明な液体やにごってネバネバした液がたまっています。耳管の働きが悪いのが原因です。

かわしま・あみる　故河島英五さんの長女。趣味で書いていた旅行記がきっかけで、関西を中心にタレント活動を開始。リポーターやパーソナリティーとして、OBC「ほんまもん！　原田年晴です金曜スペシャル」、ABC「おはよう朝日土曜日です」などのレギュラー番組に出演。「奈良町TEN・TEN・CAFE」をプロデュース。3児の母。大阪府出身。

河島　お医者さんから治ったと言われるまで診てもらわなければならないんですね。

森口　子供が痛くないと言っても、途中で治療をやめるのが一番悪い。鼻汁が多かったり、せきが出ているような風邪症状が治った時点で、水が残っていないかチェックすることが大切です。

河島　滲出性の場合はプールで泳ぐことはだめなんですか。

森口　急性でなければ基本的には問題ありませんが、風邪症状が残っているときはやめてください。また、プールで泳ぐと体力を消耗することがあるので、その点は注意してください。

治療法

河島　点耳薬や内服薬、そして治療方法など変化はありますか。

森口　平成21年に改定されましたが、小児急性中耳炎診療ガイドラインを利用した治療です。熱や、ぐずっている、よく泣くなどの全身状態、腫れや赤みなどの鼓膜の状態をポイント化し、それにより重症度に応じた治療を行う参考とします。

薬ですが、点耳薬は急性中耳炎ではあまり必要ありません。基本的に内服薬を使います。ただ、抗生物質が過去に使われすぎて細菌が耐性化しています。そのため使用量は2倍から1・5倍と多めに投与することがあります。それでも症状をコントロールできず、病気が長引く遷延性や、何度も繰り返す反復性の急性中耳炎の場合は、レーザーにより鼓膜に大きめの穴をあける開窓術や、鼓膜にチューブを挿入し、空気の換気を良くすることが必要になります。

河島　えーっ。痛そうですね。それで耳が聞こえるんですか。

森口　麻酔をしますから大丈夫です。耳はよく聞こえます。開窓したことで膿が出て聞こえやすくなるんです。それでも繰り返し中耳炎になる子供もいます。そのときはチューブの挿入です。

急性中耳炎は、インフルエンザ菌と肺炎球菌の感染が主な原因です。治療法としてワクチン接種もあります。本来は髄膜炎の予防のためですが、肺炎球菌ワクチンとヒブワクチンです。特に肺炎球菌ワクチンは一部の中耳炎に対し有効性があります。これらは昨年秋から公費でできるようになりました。ほかのワクチン接種と一緒に受けてほしいですね。

予防

河島　何か予防的なことはありますか。

森口　風邪などをひかないようにするため、早く寝て睡眠を十分とること。食生活を大切にして栄養を十分とり、生活リズムを守ることですね。予防もそうですが、子供の検診は必ず受けてください。

河島　子供をよく見ていて、なんとなく機嫌が悪いと思ったら中耳炎も疑い、耳鼻科に行くことも大事ですね。妹の子供も急性中耳炎にかかりました。今日のお話を参考にさせていただきます。ありがとうございました。

風邪が引き金で発症

耳の日　健康な耳に感謝し、難聴と言語障害を持つ人々の悩みを少しでも解決したいという社会福祉への願いから、日本耳鼻咽喉科学会が提案し、昭和31年に制定された。また、「3」の字が耳に似ていることや「3」をミと読むことでミミの日ともいわれている。ちなみに、3月3日は、電話の発明者でろう教育者であったグラハム・ベルの誕生日でもある（資料・日本耳鼻咽喉科学会）。

＜企画・制作＞
産経新聞社生活情報センター